

第42回全日本実業柔道個人選手権大会・報告書

第42回全日本実業柔道個人選手権大会は8月25日、26日の両日、ベイコム総合体育館（尼崎市記念公園）で開催された。男子は体重別7階級と22歳未満の部の645名、女子は体重別7階級の142名、計787名の参加を得、過去最高の参加規模の大会となった。選手は所属チームの応援団や地元尼崎の柔道ファンの声援を背に受け、6試合場で熱い戦いを繰り広げた。

初日の開会式は9時30分開始。水永正憲大会委員長の開会宣言、国歌斉唱、森詳介大会副会長の開会挨拶、尼崎市教育委員会徳田耕造教育長の来賓挨拶、稲村和美尼崎市長からの歓迎メッセージの披露に続き、諏訪剛審判長の試合上の注意、前年度女子78kg超級優勝、フォーリーフジャパン立山真衣選手の選手宣誓と続き、9時50分から試合を開始した。



開会式であいさつする森 大会副会長

初日の結果。男子は、81kg級で平尾謙一参段（パーク24）が接戦の末に昨年の覇者垣田恭兵参段（旭化成）を降して初優勝を飾り、73kg級は西岡和志四段（京葉ガス）が丸山兼矢参段（東芝）との死闘を旗判定で制して初優勝を果たした。66kg級は浅野大輔参段（自衛隊体育学校）が昨年の覇者青木勇介参段（パーク24）を破って昨年の雪辱を果たして2年ぶり二度目の優勝を遂げた。60kg級は石川裕紀参段（了徳寺学園）が決勝戦で僚友のベテラン小川武志五段（了徳寺学園）を降して二連覇を果たし、22歳未満は一昨年第三位、昨年準優勝と着実に成長を遂げる小林真也式段（新日本製鐵・広畑）が安本一貴式段（別府自衛隊）を寝技で降して嬉しい初優勝を遂げた。

女子では、57kg級で宇高菜絵参段（コマツ）が激しい攻防の末、平井希式段（自衛隊体育学校）に勝利して三年ぶり二度目の優勝に輝き、52kg級では新人の橋本優貴参段（コマツ）が同じく新人の斉藤美貴（Ash柔道クラブ）を寝技で抑えオール一本勝で優勝。48kg級は世界チャンピオンの浅見八瑠奈四段（コマツ）が決勝戦で笠原歩美式段（日体大柔友会）を降して貫禄の優勝を果たした。

最終日。男子は、100kg超級で西潟健太四段（旭化成）が大学、会社の後輩、新人百瀬優参段を破って初優勝を飾り、100kg級では熊代佑輔参段（ALSOK）が野田嘉明参段（旭化成）を豪快な大外刈で降し、オール一本勝で初優勝を果たす。90kg級は新人の池田賢生参段（日本中央競馬会）が多彩な技を駆使して決勝戦に進出し、穴井亮平四段（了徳寺学園）を破ってオール一本勝で初優勝を遂げた。

女子は、78kg超級においては石山麻弥式段（丸順）が、決勝戦で新田沙也加参段（日本エースサポート）に一本勝して一昨年に続く二度目の優勝を達成。78kg級の決勝戦は昨年と同じ対戦となり、岡村智美参段（コマツ）が渡邊美奈参段（了徳寺学園）に雪辱して初優勝。70kg級では今井優子四段（了徳寺学園）が決勝戦で上野巴恵参段（三井住友海上火災保険）とのデッドヒートをポイント差で制し、二年ぶり四度目の優勝を遂げた。63kg級は本大会初出場の田中美衣参段（了徳寺学園）が貝沼麻衣子参段（JR東日本女子柔道部）との決勝戦を寝技で制し一本勝で優勝を決めた。



全国各地から出場した選手が集う開会式



選手宣誓する立山真衣選手(フォーリーフジャパン)

男子100kg超級 “旭化成が表彰台を独占。西潟がその中央に立つ”

旭化成の西潟は接戦を勝ち抜き、準決勝戦で同じ会社の大鋸新五段をゴールデンスコアでの旗判定を2対1で制して、初の決勝戦に駒を進める。

一方、同じ旭化成の新人百瀬も危なげなく勝ち進み、準決勝戦では僚友で昨年準優勝の辻 玄太参段の場外際の内股を巧みに返して技ありを奪い、決勝戦進出を果たす。

巨漢同士、先輩と後輩による決勝戦。同チームの対戦とあつて場内静まり返る中、左右のケンカ組手の両者は、互いに釣手を持ったまま引手争いに終始。1分5秒両者に指導1の後、西潟が中盤左大外刈、左支釣込足、左大外刈の連続攻撃を見せたところで、2分40秒、百瀬に二つ目の指導が与えられる。その後も盛り上がり乏しいまま試合が進んでブザー。西潟が準決勝戦からの僚友対決を制して初優勝を果たす。



優勝した西潟選手
(旭化成)

西潟の話

今回、この大会で優勝することができ嬉しく思います。

昨年末から階級を上げ100kg超級となり、今回の試合が階級変更後初の個人戦でしたので、どうしても優勝したいという思いで今まで練習をつんできました。優勝はできたものの、内容は全然満足はいくものではありませんでした。ただ今回の試合は内容より結果を重視していたので、優勝できてはよかったと思います。今回優勝できたのも会社や日頃お世話になっている職場の方々のも会社や日頃お世話になっていて感謝の気持ちがあります。ありがとうございます。今後はとも応援よろしくお願ひします。

【成績】

優勝 西潟健太 (旭化成)
準優勝 百瀬 優 (旭化成)
第3位 辻 玄太 (旭化成)
第3位 大鋸 新 (旭化成)

▽準々決勝

○辻 優勝 須藤 (京葉ガス)
○百瀬 優勝 月波 (パーク24)
○大鋸 内股 増田 (新日本製鐵・広畑)
○西潟 優勝 片渕 (日本中央競馬会)

▽準決勝

○百瀬 優勝 辻
○西潟 判定勝 大鋸

▽決勝

○西潟 優勢勝 百瀬

男子100kg級 “熊代が多彩な技で一本勝を重ね、堂々の優勝”

ALSOKの熊代は初戦から背負投、払腰、寝技、大外刈と多彩な技を駆使してオール一本勝で勝ち上がる。準決勝戦でも、試合中盤に沼田貴廣四段(センコー)を豪快な大外刈で仕留め、決勝戦に臨む。

対する昨年準優勝、旭化成の野田は延長戦まで及ぶ幾度かの接戦を勝ち抜き。準決勝戦では僚友の田中貴大参段を攻め続け、指導4の反則負けを得て決勝戦へ。

熊代左、野田右のケンカ組手の決勝戦。身長に優る熊代は釣手を上から持ち、引手をがっちり引いて野田に圧力を掛ける。対する野田は、右小外刈、右小内刈を飛ばして熊代を揺さぶる。野田のこの仕掛けを委細構わずがっちり組み止めた熊代は、場外付近で遠い位置から左大外刈を仕掛け、野田がこれを返そうと後ろに右足を引き、体が斜めになったところを更に刈り込んで体を預ければ、開始51秒、野田は背中から倒れ一本。本大会初出場の熊代はオール一本勝で優勝に花を添える。



優勝した熊代選手
(ALSOK)

熊代の話

本大会で優勝出来たことを大変嬉しく思います。入社後、なかなか調子の上がらない中での良い成績であったため、大きな自信になりました。この結果に満足することなく、自分自身の弱点と向き合い、常に考え、新しいものを追求していくことを忘れずに、稽古を積んでいきたいと思っています。素晴らしい環境を提供して下さい。素晴らしい環境を築いていきます。今後の目標に向かって頑張っていきます。

【成績】

優勝 熊代佑輔 (ALSOK)
準優勝 野田嘉明 (旭化成)
第3位 沼田貴廣 (センコー)
第3位 田中貴大 (旭化成)

▽準々決勝

○沼田 判定勝 金子 (タイコロ)
○熊代 大外刈 出口 (旭化成)
○野田 反則勝 藤田 (金沢学院クラブ)
○田中 優勢勝 小林 (ALSOK)

▽準決勝

○熊代 大外刈 沼田
○野田 優勢勝 田中

▽決勝

○熊代 大外刈 野田

男子90kg級

”新人池田、全試合を異なる技で一本勝し、実業個人選手権を制す“

日本中央競馬会の新人池田は、準決勝戦までの4試合を、刈り技、担ぎ技、抑込技、絞技の全て異なる技による一本勝で勝ち進む。川瀬孝司式段（ぎふ柔道クラブ24）との準決勝戦では、共に技ありの後の3分59秒、大内刈一本で決勝戦進出を決める。

片や、了徳寺学園の穴井も順調に勝ち上がり、昨年第3位入賞のベテラン法兼 真五段（ALSOK）との準決勝戦を延長戦による旗判定で降し、初の決勝戦進出を果たす。

決勝戦は、共に右組み。開始暫くは引手を絞り合う展開が続くが、1分5秒に池田が組み際、右奥襟から穴井の首を抜きつつ右小内刈を仕掛け、そのまま左前に大きく巻込むと、横倒しになった穴井は池田の圧力に負けてくると回り、畳を背負う。新人池田はオール一本勝で堂々の優勝を遂げる。



優勝した池田選手
(日本中央競馬会)

池田の話

社会人になり初の個人戦でしたが、勝つことができ大変ほっとしております。賀持監督をはじめ、JRAの諸先輩方と共に、日々質の高い稽古が出来ていることが今回の優勝につながったと思います。また、職場の方のご理解や支えてくれる家族、応援して下さいた皆さんの存在があるからこそ思い切り柔道を出来ていることに本当に感謝しています。とても反省点の多い試合内容でしたが、勝ったということを自信に変え、これからたくさんの大会で優勝出来るよう精進していきます。

【成績】

優勝 池田賢生 (日本中央競馬会)
準優勝 穴井亮平 (了徳寺学園)
第3位 川瀬孝司 (ぎふ柔道クラブ24)
第3位 法兼 真 (ALSOK)

▽準々決勝

○川瀬 背負投 近藤 (九州電力)
○池田 上四方固 今井 (ALSOK)
○穴井 小外刈 矢野 (月江寺柔道クラブ)
○法兼 巴投 山本 (日本中央競馬会)

▽準決勝

○池田 大内刈 川瀬
○穴井 判定勝 法兼

▽決勝

○池田 小内刈 穴井

男子81kg級

”平尾が垣田との同期生との接戦を制して嬉しい初優勝“

パーク24の平尾は得意技の大内刈を中心に試合を組み立て、一本勝の進撃。準決勝戦では、山田恭平参段（東芝）から指導2を奪って決勝戦に進む。

一方、昨年の覇者旭化成の垣田は多彩な技で対戦相手を翻弄して順当に勝ち進む。小林雅司参段（パーク24）との準決勝戦では、激しい攻防の中、3分15秒、小外掛で一本勝を奪い決勝戦へ駒を進める。

両者左組み、同年齢同士の決勝戦。17秒、思いも寄らず垣田に袖口指導。その後、垣田は平尾の右袖を絞って左背負投を仕掛け、平尾は左大内刈と蹴りこむ様な右出足払を連発する。中盤、垣田が低い背負投を連発すると、2分24秒に今度は平尾に指導1が与えられる。平尾は強引に垣田の左脛辺りに足払で攻撃を仕掛け続け、垣田は左脚を痛める。その後も両者は袖口を絞り合っており、釣手を持たぬまま技を繰り返すも効果なし。終盤、平尾が奥襟を狙いに来たところを垣田は首を抜いて防ぐと、思わず後ろ向きになり、そこを平尾に攻められて、4分19秒、指導2を受ける。終盤の垣田の反撃も効果なく時間。その瞬間、平尾が嬉しい初優勝を遂げる。



優勝した平尾選手
(パーク24)

平尾の話

今大会では、久々の優勝を勝ち取ることが出来て、私にとってとても嬉しいものになりました。このような結果を出せたのも日頃から職場の方々にはご理解をいただいた柔道に専念出来る環境を整えていただいているお蔭だと思っております。去年、一昨年は、悔しい結果に終わりましたが、今大会では私の持ち味である粘り強く最後まで諦めない試合が出来たのではないかと思います。しかし、この結果には満足せず、11月に行われる講道館杯では更に上の結果を目指し、実業団代表の名に恥じないよう、これからも日々努力していきます。

【成績】

優勝 平尾謙一 (パーク24)
準優勝 垣田恭兵 (旭化成)
第3位 小林雅司 (パーク24)
第3位 山田恭平 (東芝)

▽準々決勝

○垣田 優勢勝 稲葉 (タイコロ)
○小林 優勢勝 澤田 (アイシン精機)
○山田 内股 海老 (旭化成)
○平尾 巴投 河原 (京葉ガス)

▽準決勝

○垣田 小外掛 小林
○平尾 優勢勝 山田

▽決勝

○平尾 優勢勝 垣田

男子73kg級

“ 本大会、過去最高のエントリー。西岡が113人の頂点に立つ ”

男子73kg級は本大会の全階級を通じ過去最高のエントリーとなった。京葉ガスの西岡は、足技中心の柔道で順当に勝ち進み、田村和也参段（パーク24）との準決勝戦では、両者激しい攻防を展開するも、田村有効ポイントリードで迎えた4分7秒に、西岡が内股返で技ありを奪って逆転し決勝戦に進む。

対して、東芝の丸山も積極的な試合運びで勝ち進み、朝比奈竜太郎参段（高宮接骨院）との準決勝戦を、攻めの柔道で指導2を奪って、初の決勝戦に駒を進める。

決勝戦。丸山右組み、西岡左のケンカ組手。西岡は開始34秒、前に引き出しながら左支釣込足で丸山を転がすが、丸山は辛うじて腹ばいになって逃れる。1分5秒には、丸山が組み際に飛び上がりながら腕挫十字固（「飛び十字」）を仕掛けると、西岡は相手を引き上げて危地を脱するも左腕を痛める。その後、丸山は右背負投、右体落、左一本背負投、西岡が奥襟を押さえて左内股で互いに攻め合うが、決め手を欠いて延長戦に突入。延長30秒には組み手を嫌った丸山に指導1。その後は丸山が低い背負投、体落、帯取返等で多彩な技で攻勢に出、一方の西岡は内股で応戦。終了30秒前には西岡の体落に丸山は躓き気味に倒れるも腹這いでかわす。そのまま時間となり旗判定に持ち込まれる。旗は3本共西岡に上がり、西岡の初優勝が決まる。



優勝した西岡選手
（京葉ガス）

西岡の話

今大会では優勝することができ、とてもうれしく思います。今大会優勝することができたのは社員の方々の応援や会社が柔道に対して理解があり、練習に集中して取り組める環境を与えてもらっているおかげです。これからは感謝の気持ちを常に念頭に置き、この結果に満足せず、目標である講道館杯優勝を達成できるように日々努力していきます。

【成績】

優勝 西岡和志（京葉ガス）
準優勝 丸山兼矢（東芝）
第3位 朝比奈竜太郎（高宮接骨院）
第3位 田村和也（パーク24）

▽準々決勝

○丸山 横四方固 吉菌（ダイコロ）
○朝比奈 優勢勝 澤田（軍士養成所）
○田村 小外刈 太田（自衛隊体育学校）
○西岡 内股 岩本（ナチュラル）

▽準決勝

○丸山 優勢勝 朝比奈
○西岡 優勢勝 田村

▽決勝

●西岡 判定勝 丸山

男子66kg級

“ 浅野が昨年の雪辱を果たし、2年ぶり二度目の栄冠に輝く ”

一昨年のチャンピオン浅野は苦しみながらも勝ち抜き、準決勝戦に進む。準決勝戦では、同僚の和泉強志四段を背負投有効で降して3年連続の決勝戦の舞台へ進む。片や、パーク24の青木は初戦から得意の背負投一本で勝ち上がる。準決勝戦では昨年に続き、これも背負投一本で勝ち上がった伊藤健太郎参段（自衛隊体育学校）と対戦。青木は2分55秒に伊藤から体落で有効を奪い、決勝戦に勝ち上がる。

昨年と同一カードの決勝戦は、互いに左組み。両者、素早い動きから足技、背負投を繰り返す。1分6秒、浅野は青木が不用意に大きく踏み出した左足を、外に広げるように小内刈で刈り取り、技ありを奪う。リードされた青木は、猛然と攻め立てるが、浅野は巧みに捌いてブザーが響く。浅野は昨年決勝戦の雪辱を果たし、2年ぶり二度目の優勝を飾る。



優勝した浅野選手
（自衛隊体育学校）

浅野の話

今回2回目の優勝をする事ができ大変嬉しく思います。この優勝は両親をはじめ、監督・コーチ・チームの仲間・自衛隊体育学校関係者の皆様のご指導及びご支援のおかげだと思えます。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思えます。

【成績】

優勝 浅野大輔（自衛隊体育学校）
準優勝 青木勇介（パーク24）
第3位 伊藤健太郎（自衛隊体育学校）
第3位 和泉強志（自衛隊体育学校）

▽準々決勝

○青木 優勢勝 八巻（松前柔道クラブ）
○伊藤 一本背負投 窪田（日本エースボート）
○浅野 優勢勝 秋元（了徳寺学園）
○和泉 判定勝 下山（了徳寺学園）

▽準決勝

○青木 優勢勝 伊藤
○浅野 優勢勝 和泉

▽決勝

○浅野 優勢勝 青木

男子60kg級 “ 今年のチャンピオン石川が僚友との接戦を制して二連覇達成 ”

了徳寺学園の石川は一本勝で準決勝戦に進み、僚友の川端 龍武段と対戦。両者は激しく攻撃、防御を重ねるも、開始52秒に奪った背負投技ありが決め手となって、石川が再び決勝の舞台に立つ。

一方、本大会絶好調、オール一本勝で勝ち進んだ同じく了徳寺学園の本大会V6の超ベテラン小川は、準決勝戦で矢野大地参段（パーク24）を抑え込んで二年ぶりの決勝戦へ。

決勝戦。石川は右一本背負投、左内股、巴投等の多彩な技で小川を攻める。小川は素早い動きでこれを受け流す。しかし、1分55秒、手数のない小川に指導1。その後も石川が攻め、小川が守る展開が続いて3分27秒、小川に指導2。終盤、リードを奪われた小川は激しい反撃に転じ、残り2秒に石川から指導1を奪うもそこまで。石川が二連覇を達成する。



優勝した石川選手
（了徳寺学園）

石川の話

昨年に続き、今年も全日本実業柔道個人選手権で優勝できたことを嬉しく思っています。今回優勝できたのは了徳寺先生をはじめ、熱心に指導してくださる監督・コーチ、サポートや応援してくださる方々、またいつも稽古の相手をしてくれる後輩たちのおかげです。しかし今回は反省点が多く、課題もたくさん残る試合となりました。今回出た課題を克服し、最後まで一本を取りに行く柔道“を目指して今後も稽古やトレーニングに励みたいと思います。

【成績】

優勝 石川裕紀（了徳寺学園）
準優勝 小川武志（了徳寺学園）
第3位 川端 龍（了徳寺学園）
第3位 矢野大地（パーク24）

▽準々決勝

○石川 背負投 池野（センコー）
○川端 合せ技 尾張（水戸刑務所）
○小川 上四方固 的場（此花学院柔友会）
○矢野 優勢勝 大登（北関東総合警備隊）

▽準決勝

○石川 優勢勝 川端
○小川 横四方固 矢野

▽決勝

○石川 優勢勝 小川

男子22歳未満 “ 小林が、一昨年の第3位、今年の準優勝を経て、嬉しい初優勝 ”

一昨年第3位、昨年準優勝の新日本製鐵・広畑の小林は、得意の寝技で対戦相手を翻弄し順当に勝ち上がる。オール一本勝で勝ち進んだ和久田裕人武段（東レ・滋賀）との準決勝戦では、後半に激しく攻撃を重ねて指導2を奪い、決勝戦に進出。

対する別府自衛隊の安本は、寝技によるオール一本勝で準決勝戦に進出し、箱田駿武段（ALSOK群馬総合ガードシステム）と激しい攻防の末、有効2本を奪って決勝戦に進む。

決勝戦は、共に右組みの両者。暫し組手争いを経た30秒過ぎ、安本が掛け逃げ気味に右袖釣込腰に入るところを小林が押しつぶす。小林は伏せた安本を巧みに裏返して、47秒肩固で抑え込む。安本は懸命に逃れようとするも、首を極められ動けず。昨年準優勝の小林が初優勝を飾る。



優勝した小林選手
（新日鐵・広畑）

小林の話

昨年も優勝を目標としていましたが、準優勝という結果に終わってしまい悔しい思いをしました。今年こそは絶対に優勝するという強い気持ちで試合に挑みました。試合は課題の残る内容でしたが、優勝という結果を残せたことは嬉しく思います。優勝したことに満足せず、来年から出場する階級別でも結果が残せるように、今大会の課題を克服する為にしつかりと稽古・トレーニングに励んでいきます。また日頃から思いっきり柔道に取り組める環境を与えて下さる会社・職場の皆様への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきます。

【成績】

優勝 小林真也（新日本製鐵・広畑）
準優勝 安本一貴（別府自衛隊）
第3位 和久田裕人（東レ滋賀）
第3位 箱田 駿（ALSOK群馬総合ガードシステム）

▽準々決勝

○小林 優勢勝 武内（アイシン精機）
○和久田 払巻込 柴原（関西理学院）
○安本 上四方固 菅田（大阪ガス）
○箱田 大外刈 阿部（関西医療学園）

▽準決勝

○小林 優勢勝 和久田
○安本 優勢勝 箱田

▽決勝

○小林 肩固 安本

女子78kg超級 ”石山、大内刈の冴えを魅せて2年ぶり二度目の優勝“

丸順の石山は体格で劣る不利をものともせず、得意の大内刈で勝ち進む。準決勝戦での立山真衣武段（フォーリーフジャパン）戦を延長戦の末、旗3本で降して決勝戦に進む。

対する昨年の準優勝日本エースサポートの新田は、体格を利した柔道で勝ち上がり、準決勝戦でも、村瀬晴香参段（ヤックスケアサービス）を払腰技ありから袈裟固で抑え込み悲願の初優勝を目指す。

決勝戦。石山は右組みで引手をしっかりと握り、体重差30kg以上の新田に對す。体格で圧倒する新田は、両襟を掴み左内股で勝機を窺う。再三、大内刈で右足を飛ばして新田を牽制する石山は、1分12秒、遂に新田を捉え、右足で鋭く大内刈に刈り込みながら前に押し込めば、新田はもんどりうって背中から畳に沈む。石山が見事な一本勝で2年ぶり二度目の優勝を飾る。



優勝した石山選手（丸順）

石山の話

去年は怪我をして出場することが出来なくて悔しい思いをしたので、今大会は必ず勝つという気持ちで試合に挑み、優勝することが出来、大変嬉しく思います。優勝することが出来たのも日々サポートしてくださる皆様や応援してくださる皆様のお陰です。本当に感謝しています。これからも1日1日大切に練習に励んでいきたいと思っています。

【成績】

- 優勝 石山麻弥（丸順）
- 準優勝 新田沙也加（日本エースサポート）
- 第3位 立山真衣（フォーリーフジャパン）
- 第3位 村瀬晴香（ヤックスケアサービス）

▽準々決勝

- 立山 払腰 白石（J.R.東日本柔道部）
- 石山 大内刈 石川（日本エースサポート）
- 新田 優勢勝 佐藤（金沢学院クラブ）
- 村瀬 崩袈裟固 佐藤（J.R.東日本柔道部）

▽準決勝

- 石山 判定勝 立山
- 新田 合せ技 村瀬

▽決勝

- 石山 大内刈 新田

女子78kg級 ”岡村、昨年の決勝戦の雪辱を一本勝で果たす嬉しい初優勝“

昨年の準優勝者、コマツの岡村は不戦勝1試合を含む3試合を難なく勝ち上がり、準決勝戦で昨年に続き柴野亜季参段（北関東総合警備保障）と対戦。同じ体型の両者であるが、岡村は浴びせ倒すような小外掛で技ありと有効を各奪って、昨年に続き決勝戦に進む。

一方の了徳寺学園渡邊は初戦を難なく勝利して進んだ準決勝戦では、生田茜参段（ヤックスケアサービス）を得意の背負投一本勝で降し、決勝戦進出を決める。

昨年に続く両者による決勝戦。開始早々から身長で劣る渡邊は、低い右背負投と左一本背負投で岡村を攻め、1分6秒指導1を奪う。後半に入り、上背のある岡村は奥襟を取って左内股で反撃を開始し、2分37秒に指導1を奪い返す。しかし両者、それ以上のポイントを奪えず引分ける。延長戦に入り、両者はなおも互いに得意技を繰り出す。1分8秒、渡邊の低い右背負投が潰れたところを岡村が後ろに回って力強く渡邊を裏返し、足を抜いて1分26秒に横四方固でがっちり抑え込む。岡村は昨年の雪辱を遂げ、嬉しい初優勝を果たす。



優勝した岡村選手（コマツ）

岡村の話

今回の全日本実業柔道個人選手権大会は6回目の出場が優勝する事が出来本当に嬉しく思います。今回優勝する事が出来たのは、日頃応援して下さっている社員の方や会社が柔道部を理解し自分達が思う存分柔道に取り組める環境を与えて下さっているお陰だと思っています。この優勝を糧にしてこれからも精進していきたいと思っています。

【成績】

- 優勝 岡村智美（コマツ）
- 準優勝 渡邊美奈（了徳寺学園）
- 第3位 生田 茜（ヤックスケアサービス）
- 第3位 柴野亜希（北関東総合警備保障）

▽準々決勝

- 渡邊 背負投 藤本（仁康会・小泉病院）
- 生田 小外刈 吉村（三井住友海上火災保険）
- 岡村 内股 井上（仁康会・小泉病院）
- 柴野 内股 只野（九州旅客鉄道）

▽準決勝

- 渡邊 背負投 生田
- 岡村 小外掛 柴野

▽決勝

- 岡村 横四方固 渡邊

女子70kg級 “ベテラン今井が手に汗握る熱戦を制してV4の偉業達成”

了徳寺学園のベテラン今井は、2試合連続一本勝で準決勝戦に進み、大住有加参段（JR東日本女子柔道部）と準決勝戦で対戦。新鋭大住に対し、今井は3分13秒と4分19秒に有効二つを奪って四度、決勝戦の舞台に進む。

片や、上野三姉妹の末妹、三井住友海上火災保険の上野巴恵は、第3回戦で新人大野陽子参段（コマツ）と延長戦をフルに戦い、旗が分かれる接戦を制して準決勝戦に進出。準決勝戦では小島佑香参段（JR東日本女子柔道部）から3分47秒、左大内刈から内股へ変化して一本を奪い、決勝戦の初舞台へ進む。

決勝戦。開始43秒、上野の左小外掛の技ありは合議により有効に変更される。1分51秒には、今井が右背負投から、所謂「腕返」気味に反転すると、後ろに重心を掛けた上野は勢い付いて後方に倒れ込み、技あり。2分20秒、今度は上野が低い右一本背負投で有効を奪う。2分45秒には、今井が先と同様の背負投から後ろへもたれこんで上野を転がして有効。その後、リードを許す上野が小外掛で攻めると、守勢の今井に3分24秒指導1。3分38秒には今井が三度、同じ背負投で二つ目の有効を奪う。4分30秒、組み合わない今井に指導2。両者の手に汗握る攻防もそこまで。ポイント数で差を付けて今井がこの熱戦を制し2年ぶり四度目の優勝を果たす。



優勝した今井選手
(了徳寺学園)

今井の話

今回の試合では内容はよくなく課題が残る試合ばかりでしたが、結果が残せてよかったと思います。試合でみつかった課題を克服できるようにこれから精進していきます。

【成績】

- 優勝 今井優子（了徳寺学園）
- 準優勝 上野巴恵（三井住友海上火災保険）
- 第3位 小島佑香（JR東日本女子柔道部）
- 第3位 大住有加（JR東日本女子柔道部）

▽準々決勝

- 小島 棄権勝 石井（三井住友海上火災保険）
- 上野 判定勝 大野（コマツ）
- 大住 横上四方固 野関（九州旅客鉄道）
- 今井 谷落 新井（三井住友海上火災保険）

▽準決勝

- 上野 内股 小島
- 今井 優勢勝 大住

▽決勝

- 今井 優勢勝 上野

女子63kg級 “新人田中が攻めの柔道で昨年の覇者貝沼を制して優勝を果たす”

了徳寺学園の新人田中は、準決勝戦までの2試合を危なげなく勝ち進み、準決勝戦でも試合開始早々から攻め続け、1分39秒、片桐夏海参段（コマツ）から小外刈で技ありを奪い、そのまま横四方固で抑え込んで決勝戦に進む。

一方、昨年の覇者JR東日本女子柔道部の貝沼は、他を圧倒する柔道で順当に勝ち進む。阿部香菜参段（三井住友海上火災保険）との準決勝戦においても、1分過ぎ内股有効から上四方固に抑え込んで決勝戦進出。

決勝戦は左組みの田中が攻勢に出て、右組みの貝沼が守勢に回る展開が始まる。押し気味の体勢から放つ貝沼の内股も組手不十分の為、効無し。1分29秒には組み合わない貝沼に指導1。その後、田中が貝沼の内股を振り回して潰し、伏せた貝沼を裏返しにして1分50秒に横四方固で抑え込み、田中が本大会初出場を晴れの優勝で飾る。



優勝した田中選手
(了徳寺学園)

田中の話

今回、この全日本実業柔道個人選手権大会で優勝することができ、大変嬉しく思います。今回の大会では、練習してきたことを試合で出すことができ、優勝することができました。優勝できたのも、柔道に専念できる環境を頂き、またたきさんのサポートや応援をしてくれる方々がいてくれるからだと思います。少しでも結果で恩返しできるように、これからも練習に励んでいきたいと思っています。

【成績】

- 優勝 田中美衣（了徳寺学園）
- 準優勝 貝沼麻衣子（JR東日本女子柔道部）
- 第3位 阿部香菜（三井住友海上火災保険）
- 第3位 片桐夏海（コマツ）

▽準々決勝

- 貝沼 優勢勝 生田（松前柔道クラブ）
- 阿部 腕挫十字固 柿内（フョリージャパン）
- 片桐 優勢勝 上村（三井住友海上火災保険）
- 田中 優勢勝 磯辺（自衛隊体育学校）

▽準決勝

- 貝沼 上四方固 阿部
- 田中 合せ技 片桐

▽決勝

- 田中 横四方固 貝沼

女子57kg級 “宇高が攻めの柔道で勝利を掴み、2度目のV”

攻撃柔道のコマツ宇高は、難なく準決勝戦に進出し、チームの後輩大友真貴子参段との準決勝戦では、開始間もなく小外刈で技ありを奪う。その後は大友の反撃を振り切り、2年連続決勝戦に駒を進める。

対するも自衛隊体育学校の平井は、接戦を制して勝ち上がる。準決勝戦で昨年のチャンピオン石川慈参段（コマツ）と対戦を旗が分かれる際どい勝利をものにして、2年ぶりの決勝戦の舞台へ。

決勝戦。平井左組み、宇高右組みの両者は互いに組み合わず43秒、両者に指導1。2分18秒には技の出ない宇高に指導2が与えられる。しかし、3分23秒、今度は平井にも指導2が来て引分け。延長戦では、互いに引手を握れず、攻め切れない状態が続くが、次第に平井に疲労の色濃くなり、一方の宇高は終始攻勢に出るもポイントを奪えないまま時間となる。旗判定は白3本が上り、宇高が3年ぶり2度目の優勝を果たす。



優勝した宇高選手
(コマツ)

宇高の話

昨年、決勝戦で敗れてしまい悔しい思いをしました。今回優勝することができて良かったです。今大会では、今練習している技や組み手を試すことができ、新たに課題も見つけることができました。苦しい場面でも、たっくさんの方の応援が力となり、とても感謝しています。今回優勝できたことを自信にし、今後の大会でもう一歩成長した柔道が発揮できるよう尽力していきたいと思っています。

【成績】

- 優勝 宇高菜絵（コマツ）
- 準優勝 平井 希（自衛隊体育学校）
- 第3位 石川 慈（コマツ）
- 第3位 大友真貴子（コマツ）

▽準々決勝

- 石川 大内刈 塩山（ヤックスアサヒス）
- 平井 判定勝 塩瀬（三井住友海上火災保険）
- 宇高 優勢勝 上原（J日日本柔道部）
- 大友 優勢勝 広村（日本エースサポート）

▽準決勝

- 平井 判定勝 石川
- 宇高 優勢勝 大友

▽決勝

- 宇高 判定勝 平井

女子52kg級 “新人橋本、オール寝技の一本勝で堂々の優勝”

地元兵庫県出身、コマツの新人橋本は、得意の寝技で対戦相手を圧倒し破竹の進撃を見せる。伊部尚子参段（ぎふ柔道クラブ24）との準決勝戦においても、終始攻め続け、3分40秒過ぎに伊部の巴投を外して崩壊姿固で抑え込み、勝ち名乗りを受ける。

同じくAsh柔道クラブ新人の斉藤美貴参段は、足技の冴えを見せて勝ち進み、和泉三友紀参段（日本エースサポート）との準決勝戦では、開始1分12秒、右小内刈から踵返で攻め、最後に右大内刈でとどめを刺すという見事な連絡技で一本を奪い、決勝戦進出を果たす。

新人同士の決勝戦。共に右組み。暫しの組手争いの後、組み止めた橋本は力強く斉藤の前に引き倒し、伏せた斉藤を粘り強く攻め、最後は力強く裏返して、開始46秒、横四方固で抑え込む。橋本はオール一本勝で初優勝。



優勝した橋本選手
(コマツ)

橋本の話

社会人になり、初めてこの大会に参加して、私自身、国内の大会で初優勝できたことが、大変うれしいです。試合中に聞こえる応援団の方々の声に、背中を押してもらい勝つことができました。ありがとうございます。これでゴールではないので、ここからがスタートだということをしっかり認識して、この大会でできた課題を克服し、更に成長していきたいと思っています。社内外で頂く温かい声が、私の大きな力になっています。これからは、応援よろしくお願いします。

【成績】

- 優勝 橋本優貴（コマツ）
- 準優勝 斉藤美貴（Ash柔道クラブ）
- 第3位 和泉三友紀（日本エースサポート）
- 第3位 伊部尚子（ぎふ柔道クラブ24）

▽準々決勝

- 和泉 優勢勝 東川（ヤックスアサヒス）
- 斉藤 優勢勝 宮川（コマツ）
- 橋本 腕挫十字固 秋元（東京柔道整復専門学校）
- 伊部 優勢勝 澤田（日本エースサポート）

▽準決勝

- 斉藤 大内刈 和泉
- 橋本 崩壊姿固 伊部

▽決勝

- 橋本 横四方固 斉藤

女子48kg級 “浅見、再び世界一を目指して復帰戦を飾る”

世界選手権二連覇中のコマツ浅見は、本大会初出場。事実上の決勝戦ともいえる第3回戦での山岸絵美参段（三井住友海上火災保険）との対戦は接戦となるが、旗判定でこれを制す。続く濱口光武段（了徳寺学園）との準決勝戦では、終始攻め続け、終盤に崩上四方固で抑え込み、決勝戦に駒を進める。

片や、日体大柔友会の新人笠原は、準決勝戦までの2試合を一本勝で勝利し準決勝戦へ。ここでは、同じ新人の黒江優希参段（北関東総合警備保障）を延長戦の末、旗判定で降し、世界チャンピオンに挑む。

決勝戦は、浅見右組み、笠原左のケンカ組手。浅見は右小外刈から寝技で攻める。対する笠原は背負投で応戦。浅見は1分17秒に右小外掛で技ありを奪い、そのまま崩袈裟固で抑え込む。浅見、実力を発揮し、復帰戦を堂々の優勝で飾る。



優勝した浅見選手
(コマツ)

浅見の話

今大会、初優勝でき素直に嬉しく思っています。たくさんのご声援ありがとうございました。素晴らしい環境、同じ目標をもった仲間、そしていつも温かいご支援・ご声援を送って下さるたくさんの方々のもので、このように自分が選んだ柔道を思う存分やらせていただき、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。これからも応援して下さいている皆さんと一緒にたくさんさんの喜びを共有できるよう頑張りたいと思います。

【成績】

優勝 浅見八瑠奈 (コマツ)

準優勝 笠原歩美 (日体大柔友会)

第3位 濱口 光 (了徳寺学園)

第3位 黒江優希 (北関東総合警備保障)

▽準々決勝

○濱口 背負投 鈎持 (緩羽)

○浅見 判定勝 山岸 (三井住友海上火災保険)

○笠原 横四方固 宮前 (仁康会・小泉病院)

○黒江 袖釣込腰 前島 (日本生命保険)

▽準決勝

○浅見 崩上四方固 濱口

○笠原 判定勝 黒江

▽決勝

○浅見 合せ技 笠原



100kg級 熊代 大外刈 野田



90kg級 池田 小内刈 穴井



78kg超級 石山 大内刈 新田

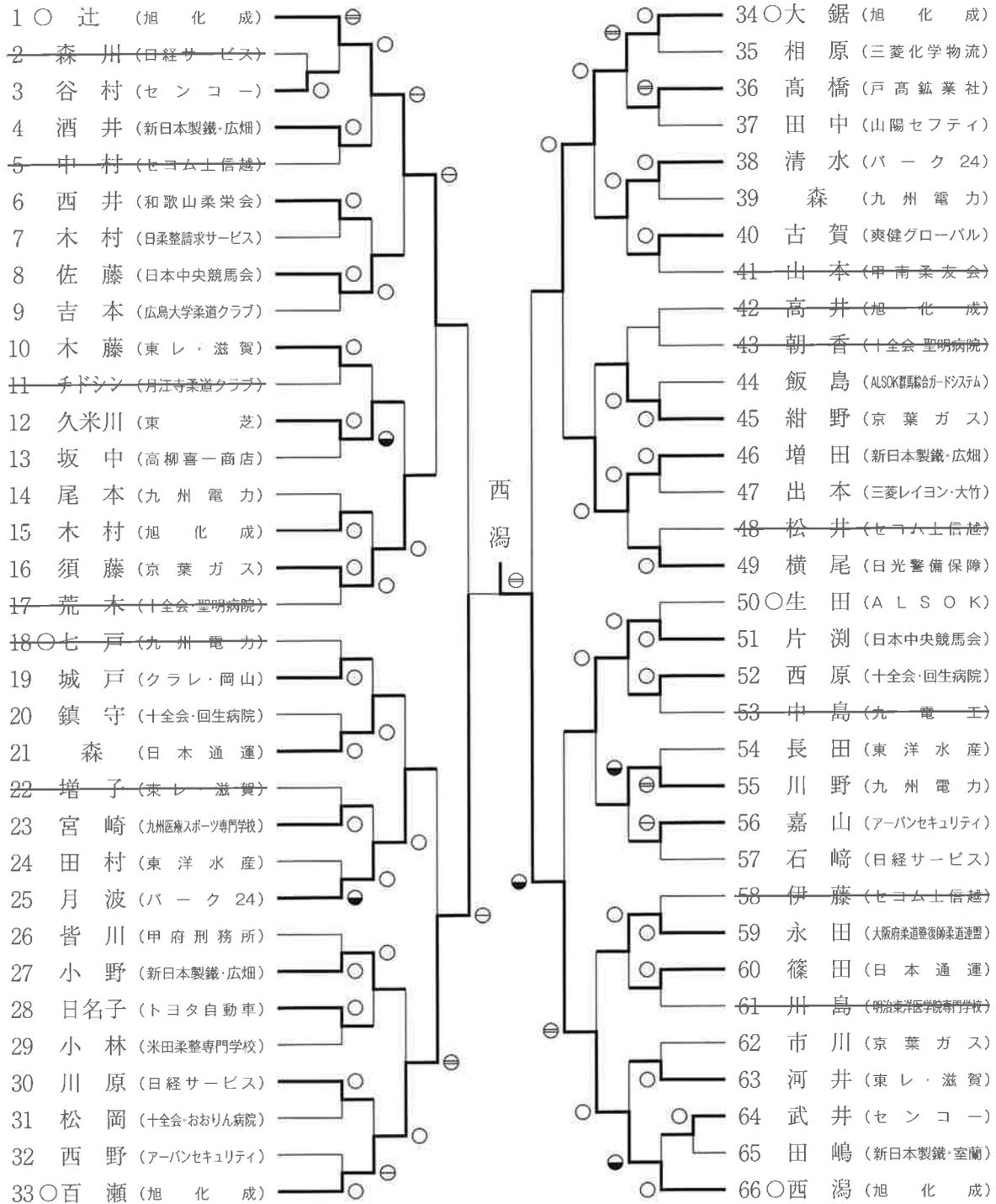


70kg級 今井 優勢勝 上野

熱戦風景 1

成績表

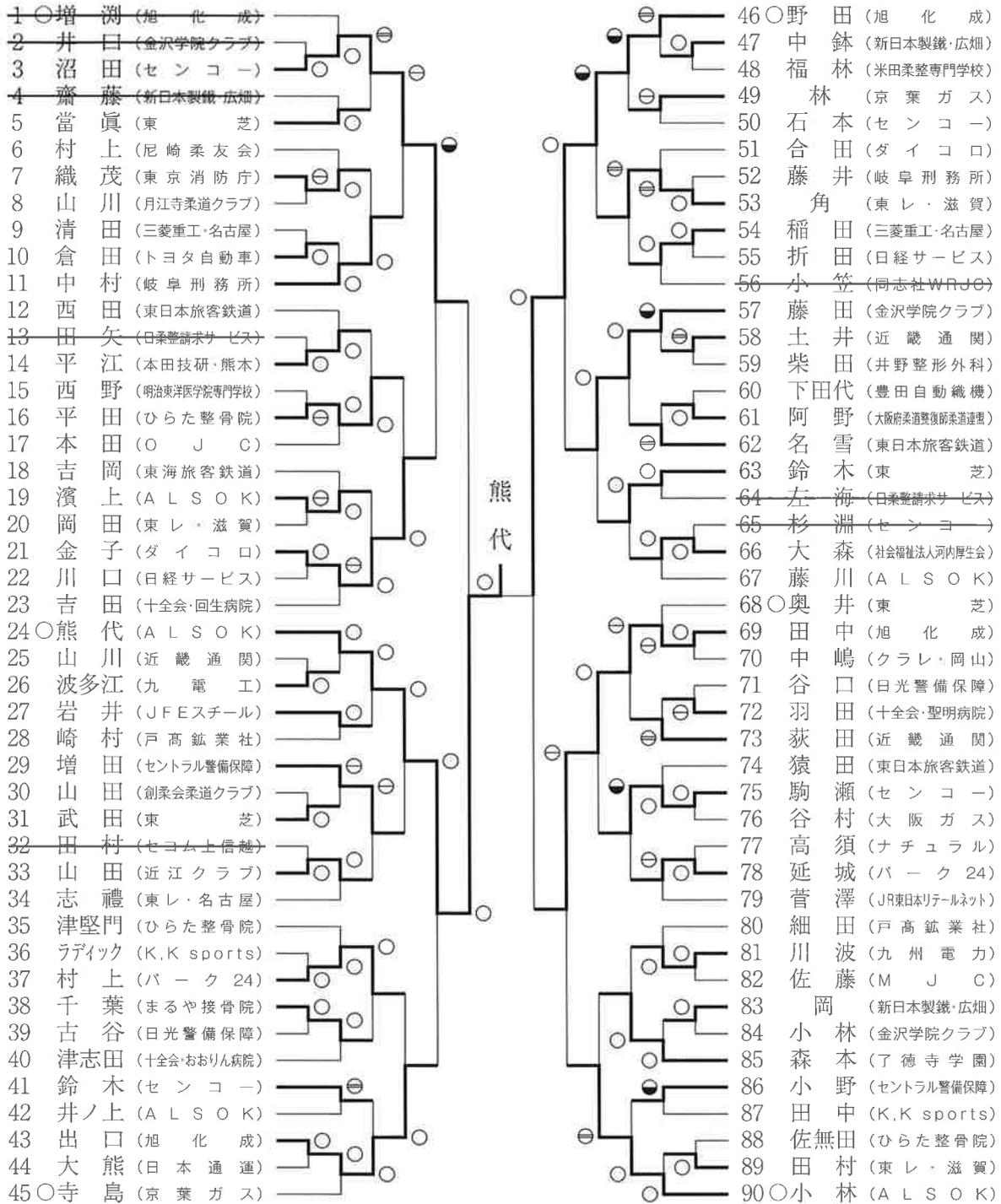
男子100kg超級(66名)



○印はシード選手

成績表

男子100kg級(90名)



○印はシード選手

成績表

男子90kg級(88名)

1 ○花本 (京葉ガス)		45 ○矢寄 (月江寺柔道クラブ)
2 高橋 (ALSOK相模総合ドリーム)		46 和知 (日光警備保障)
3 橋本 (東京消防庁)		47 ガンバトル (京都医健専門学校)
4 神澤 (東日本旅客鉄道)		48 菊川 (○—J—○)
5 渡邊 (三菱化学物流)		49 森田 (建築工業)
6 金澤 (日光警備保障)		50 丹羽 (M J C)
7 川瀬 (ぎふ柔道クラブ24)		51 太江田 (肥後銀行)
8 佐藤 (ツクバ計画)		52 宮原 (帝京大学柔道クラブ)
9 上蘭 (ひらた整骨院)		53 反中 (ダイコロ)
10 八田 (駒澤大学柔友会)		54 笠原 (まるや接骨院)
11 鈴木 (龍谷クラブ)		55 前田 (東日本旅客鉄道)
12 浅田 (大阪ガス)		56 山元 (ひらた整骨院)
13 橋本 (此花学院柔友会)		57 浜野 (三菱重工・名古屋)
14 白川 (アーバンセキュリティ)		58 加藤 (日本通運)
15 小畑 (十全会・回生病院)		59 寺島 (国士館柔道クラブ)
16 齋藤 (東レ・名古屋)		60 篠原 (九電工)
17 野瀬 (国士館柔道クラブ)		61 島 (三菱化学物流)
18 斎藤 (JAKE・JAPAN)		62 浦上 (十全会・おおりん病院)
19 近藤 (九州電力)		63 高松 (チャマグローバル)
20 増岡 (三菱重工・名古屋)		64 牛尾 (甲府刑務所)
21 久保寺 (東芝)		65 是松 (新日本製鐵本社)
22 山口 (東洋水産)		66 ○穴井 (了徳寺学園)
23 ○馬場 (中京柔道クラブ)		67 ○法兼 (ALSOK)
24 古澤 (新日本製鐵八幡)		68 小笠原 (錦秀会 阪和病院)
25 高久 (北関東総合警備保障)		69 茂木 (井野整形外科)
26 桂 (大阪府柔道連盟)		70 清水 (東日本旅客鉄道)
27 吉村 (ゆうスポーツクラブ)		71 北澤 (日経サービス)
28 井上 (日本生命保険)		72 金山 (日柔整請求サービス)
29 今井 (ALSOK)		73 山本 (関西電力)
30 遠矢 (日経サービス)		74 下川 (関西学院柔道クラブ)
31 小畑 (東日本旅客鉄道)		75 手塚 (京葉ガス)
32 山崎 (三菱重工・名古屋)		76 磯川 (大阪ガス)
33 富田 (まるや接骨院)		77 安齋 (駒澤大学柔友会)
34 三宅 (ナチュラル)		78 河添 (旭化成)
35 砂原 (近畿通関)		79 松田 (瀬野川病院)
36 中ノ森 (名大柔友会)		80 松宮 (新日本製鐵・広畑)
37 金子 (K.K sports)		81 田畑 (セントラル警備保障)
38 加藤 (衆議院事務局)		82 青木 (東レ・滋賀)
39 前田 (武大柔心会)		83 須藤 (仙台大学柔道クラブ)
40 矢田 (本田技研・熊本)		84 山内 (ナチュラル)
41 池田 (日本中央競馬会)		85 坂口 (国士館柔道クラブ)
42 桑原 (十全会・おおりん病院)		86 亀井 (岐阜刑務所)
43 手島 (センコー)		87 齊藤 (武大柔心会)
44 ○吉田 (旭化成)		88 ○山本 (日本中央競馬会)

○印はシード選手

成績表

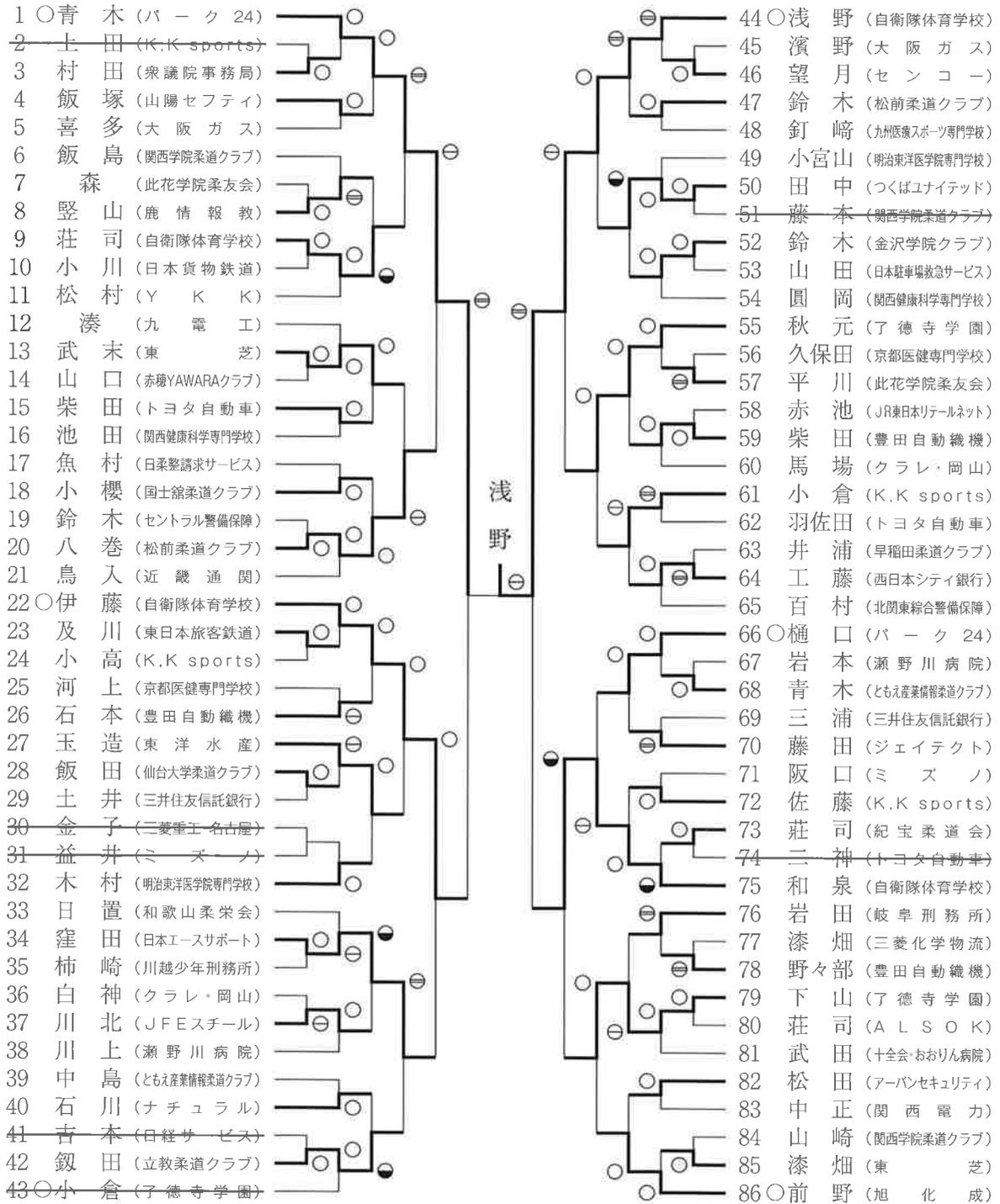
男子81kg級(108名)

1 ○垣田 (旭化成) 2 杉本 (豊田自動織機) 3 木次 (高宮接骨院) 4 山本 (九州電力) 5 渡辺 (米田柔整専門学校) 6 入来 (関西学院柔道クラブ) 7 海老沼 (パーク24) 8 荒木 (アーバンセキュリティ) 9 安久津 (社会福祉法人河内厚生会) 10 佐藤 (了徳寺学園) 11 城之内 (JFEスチール) 12 金子 (早稲田柔道クラブ) 13 小林 (横浜国大柔友会) 14 小川 (日本生命保険) 15 乙名 (戸高鋳業社) 16 原 (十全会・回生病院) 17 中川 (東芝) 18 松田 (ゆースポーツクラブ) 19 村上 (M-J-○) 20 黒肥地 (十全会・おおりん病院) 21 大束 (旭化成) 22 住野 (トヨタ自動車) 23 小野寺 (千代田インテグレ) 24 中川 (名大柔友会) 25 藤原 (日柔整請求サービス) 26 稲葉 (ダイコロ) 27 珠玖林 (近畿通関) 28 ○小 (パーク24) 29 山本 (日本生命保険) 30 安東 (戸高鋳業社) 31 八重樫 (豊田自動織機) 32 加藤 (建築工業) 33 村椿 (岐阜刑務所) 34 林 (九電工) 35 照井 (ともえ産業情報柔道クラブ) 36 塘内 (旭化成) 37 宇野 (早稲田柔道クラブ) 38 渡邊 (クラレ・岡山) 39 尾形 (月江寺柔道クラブ) 40 ハーレー (広島大学柔道クラブ) 41 野中 (肥後銀行) 42 小池 (北関東総合警備保障) 43 菊地 (金沢学院クラブ) 44 秋政 (明治東洋医学院専門学校) 45 丸峯 (日本通運) 46 高野 (千葉市消防局) 47 森本 (三井住友信託銀行) 48 眞野 (JR東日本リテールネット) 49 池崎 (新日本製鐵・八幡) 50 相樂 (十全会・聖明病院) 51 山下 (山陽セフティ) 52 大月 (東芝) 53 澤田 (アイシン精機) 54 佐々木 (横浜国大柔友会)	平尾	55 ○海老藤 (旭化成) 56 佐藤 (衆議院事務局) 57 日藤 (ミキハウス) 58 黒澤 (東レ・滋賀) 59 長谷川 (大阪府柔道整復師柔道連盟) 60 三角 (関西学院柔道クラブ) 61 田中 (岐阜刑務所) 62 世古 (赤穂YAWARAクラブ) 63 能勢 (神鋼環境ソリューション) 64 田浦 (豊田自動織機) 65 谷口 (早稲田柔道クラブ) 66 佐々木 (セントラル警備保障) 67 坂田 (十全会・回生病院) 68 吉井 (パーク24) 69 加藤 (豊田自動織機) 70 西田 (旭化成) 71 長谷川 (明治東洋医学院専門学校) 72 前川 (日柔整請求サービス) 73 越智 (広島大学柔道クラブ) 74 田中 (千代田インテグレ) 75 森 (九電工) 76 山田 (東芝) 77 井原 (ダイコロ) 78 田辺 (JFEスチール) 79 矢野 (日本通運) 80 萬代 (日本生命保険) 81 梶原 (新日本製鐵・大分) 82 ○平尾 (パーク24) 83 阿部 (十全会・おおりん病院) 84 逸見 (セコム上信越) 85 田中 (創柔会柔道クラブ) 86 島田 (甲府刑務所) 87 渭原 (東芝) 88 白井 (旭化成) 89 布施 (錦秀会 阪和病院) 90 齊藤 (三菱重工 名古屋) 91 関本 (オアシス・札幌) 92 帆高 (九州電力) 93 田中 (A.L.S.O.K) 94 小宮 (赤門柔道倶楽部) 95 中島 (豊田自動織機) 96 平野 (近畿通関) 97 河原 (京葉ガス) 98 杵淵 (MARU福岡柔道クラブ) 99 赤迫 (戸高鋳業社) 100 吉永 (新日本製鐵・広畑) 101 松原 (和歌山柔栄会) 102 木下 (K.K sports) 103 石澤 (ジェイテクト) 104 笹木 (瀬野川病院) 105 林 (岐阜市役所) 106 日下 (横浜国大柔友会) 107 庄本 (明治東洋医学院専門学校) 108 横山 (井野整形外科)
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○印はシード選手

成績表

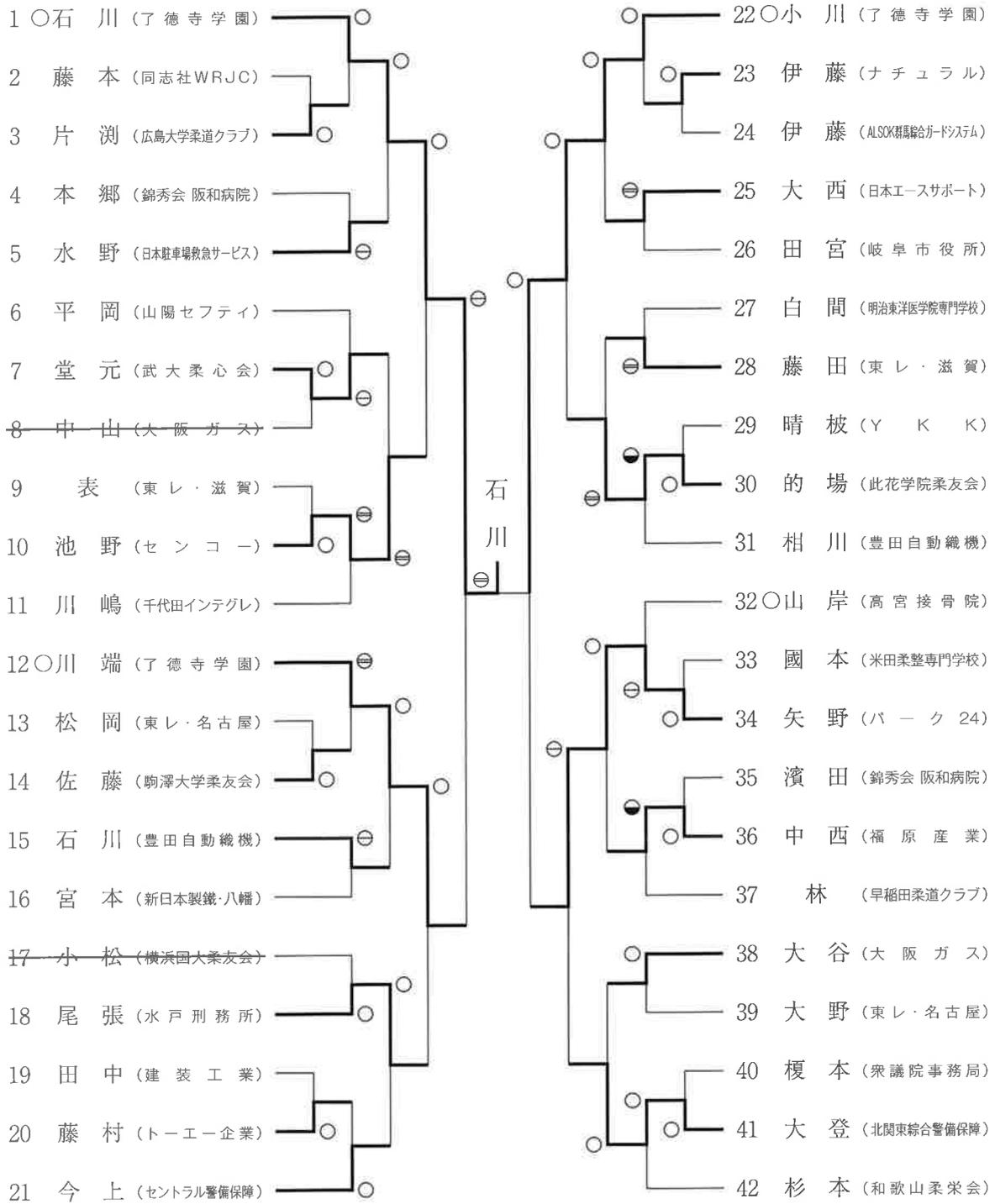
男子66kg級(86名)



○印はシード選手

成績表

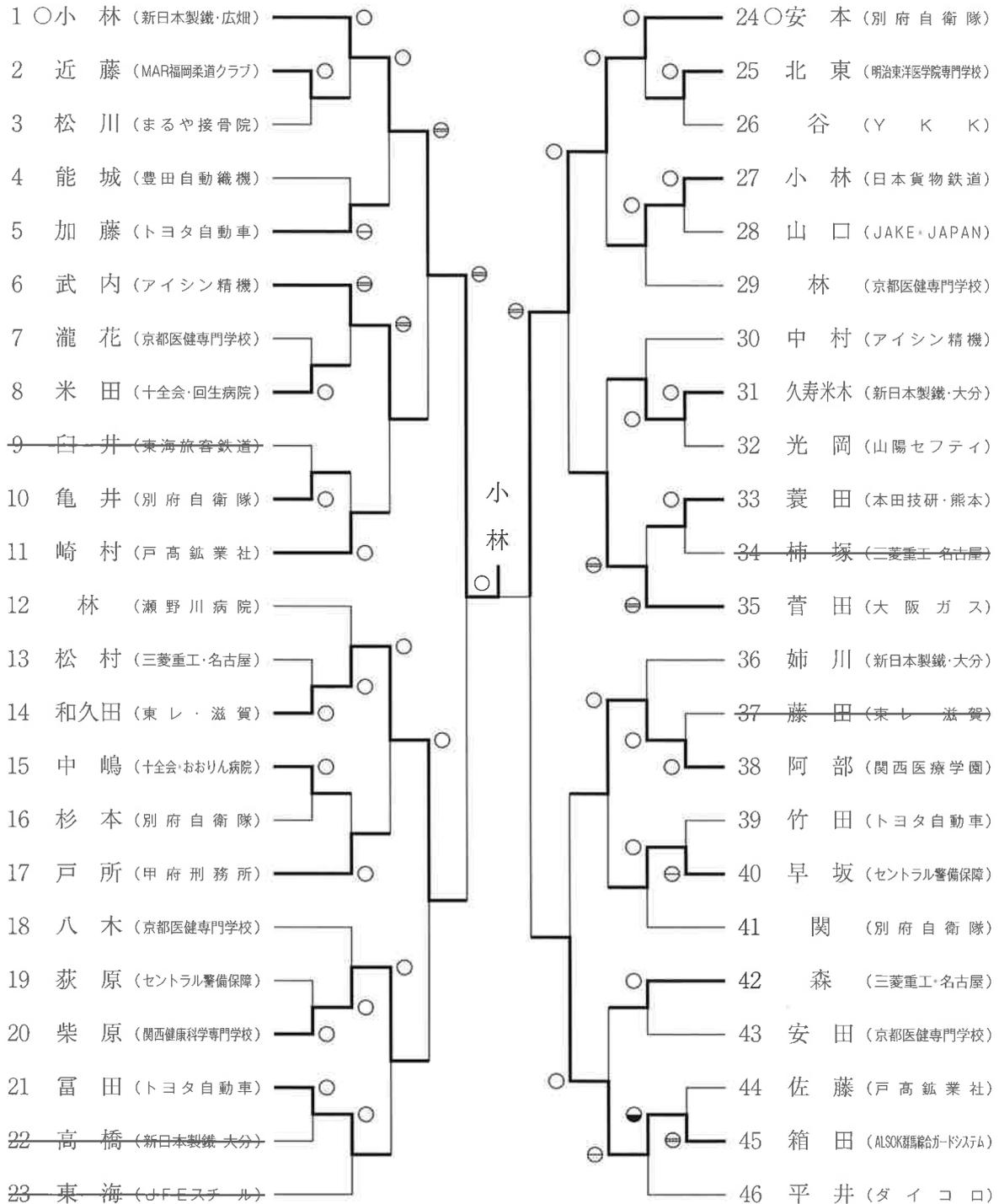
男子60kg級(42名)



○印はシード選手

成績表

男子22歳未満(46名)



○印はシード選手

成績表

女子78kg超級(16名)

1 ○立山 (フォーリーフジャパン)		9 ○新田 (日本エースサポート)
2 野方 (近大クラブ)		10 相原 (櫻葉倶楽部)
3 山市 (真明会)		11 佐藤 (金沢学院クラブ)
4 白石 (JR東日本女子柔道部)		12 佐伯 (十全会・回生病院)
5 ○小貫 (松前柔道クラブ)		13 ○野村 (かなや接骨院)
6 石川 (日本エースサポート)		14 村瀬 (ヤックスケアサービス)
7 野瀬 (仁康会・小泉病院)		15 佐藤 (JR東日本女子柔道部)
8 ○石山 (丸順)		16 ○稲森 (三井住友海上火災保険)

女子78kg級(15名)

1 ○渡邊 (了徳寺学園)		8 ○岡村 (コマツ)
2 比南原 (瀬野川病院)		9 宮原 (かなや接骨院)
3 藤本 (仁康会・小泉病院)		10 遠藤 (日光警備保障)
4 ○吉村 (三井住友海上火災保険)		11 井上 (仁康会・小泉病院)
5 池崎 (九州医療スポーツ専門学校)		12 ○柴野 (北関東総合警備保障)
6 檜山 (北関東総合警備保障)		13 鳥谷部 (鐵心館 秋元道場)
7 生田 (ヤックスケアサービス)		14 只野 (九州旅客鉄道)
		15 穴井 (ミキハウス)

女子70kg級(22名)

1 ○川上 (フォーリーフジャパン)		12 ○大住 (JR東日本女子柔道部)
2 峰松 (日体大柔友会)		13 磯崎 (日本生命保険)
3 石井 (三井住友海上火災保険)		14 野口 (三井住友信託銀行)
4 小島 (JR東日本女子柔道部)		15 笹原 (十全会・回生病院)
5 浅井 (松前柔道クラブ)		16 野関 (九州旅客鉄道)
6 ○上野 (三井住友海上火災保険)		17 ○今井 (了徳寺学園)
7 相馬 (日本エースサポート)		18 廣田 (K.K sports)
8 佐々木 (真明会)		19 吉川 (米田柔整専門学校)
9 山本 (瀬野川病院)		20 奥原 (瀬野川病院)
10 北田 (ワイエスフード)		21 坂巻 (榎谷塾)
11 ○大野 (コマツ)		22 ○新井 (三井住友海上火災保険)

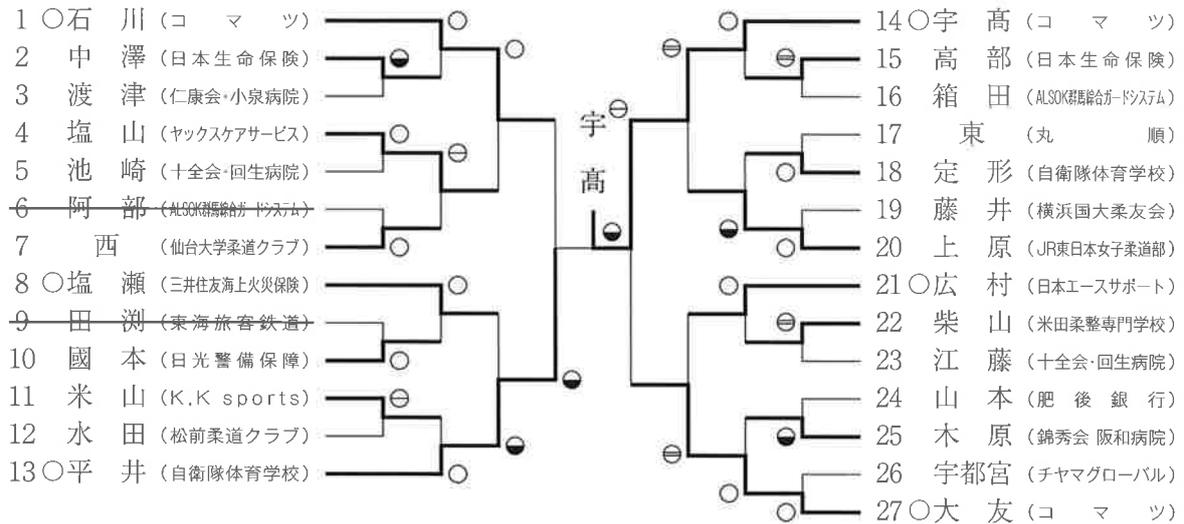
女子63kg級(22名)

1 ○貝沼 (JR東日本女子柔道部)		12 ○片桐 (コマツ)
2 石田 (米田柔整専門学校)		13 北岡 (ワイエスフード)
3 齋藤 (北関東総合警備保障)		14 太田 (高宮接骨院)
4 西部 (日光警備保障)		15 上村 (三井住友海上火災保険)
5 生田 (松前柔道クラブ)		16 中西 (龍谷クラブ)
6 ○阿部 (三井住友海上火災保険)		17 能津 (錦秀会 阪和病院)
7 須山 (仁康会・小泉病院)		18 ○田中 (了徳寺学園)
8 渡辺 (JR東日本女子柔道部)		19 松岡 (JR東日本女子柔道部)
9 柿内 (フォーリーフジャパン)		20 熊田 (北関東総合警備保障)
10 上野 (日本生命保険)		21 松井 (丸順)
11 藤田 (自衛隊体育学校)		22 磯辺 (自衛隊体育学校)

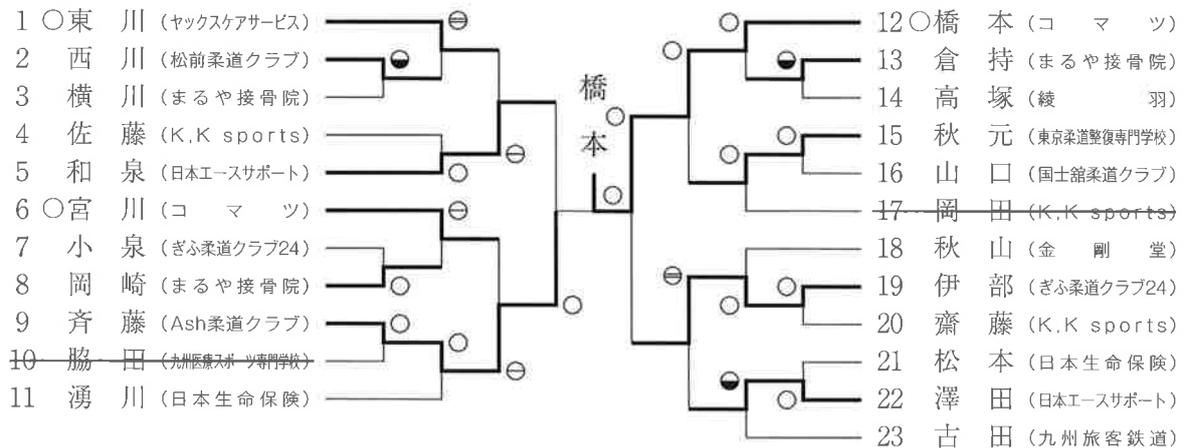
○印はシード選手

成績表

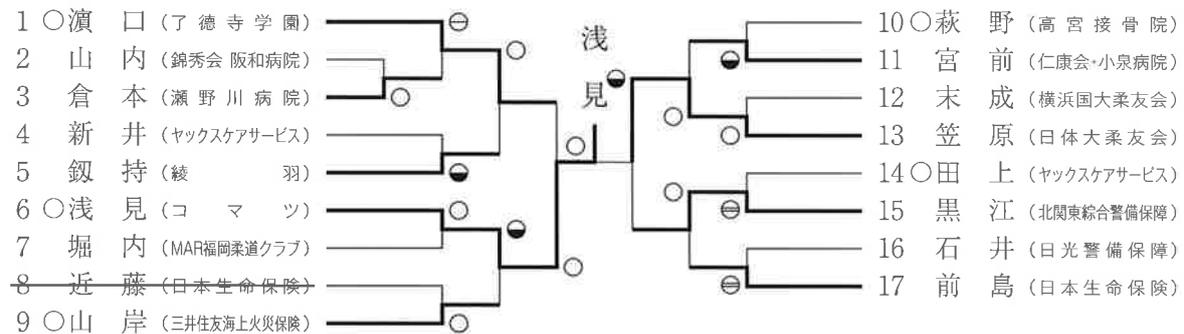
女子57kg級(27名)



女子52kg級(23名)



女子48kg級(17名)



○印はシード選手



52kg級 橋本 横四方固 斉藤



73kg級 西岡 判定勝 丸山



48kg級 浅見 合せ技 笠原



60kg級 石川 優勢勝 小川

熱
戦
風
景
2

第30回オリンピック競技大会 柔道競技 成績一覧表 (当連盟所属)

第30回オリンピック競技大会 柔道競技は7月28日から7日間、イギリス・ロンドンで開催された。当連盟より男女全14階級のうち10名が日本代表として出場した。結果は以下のとおり。

階級	選手名	会社名	成績
100kg超級	上川 大樹	京葉ガス(株)	2回戦敗退
90kg級	西山 将士	新日本製鐵(株)	3位
73kg級	中矢 力	ALSOK	2位
66kg級	海老沼 匡	パーク24(株)	3位
60kg級	平岡 拓晃	学校法人了徳寺学園	2位
78kg超級	杉本 美香	コマツ	2位
63kg級	上野 順恵	三井住友海上火災保険(株)	3位
57kg級	松本 薫	(株)フォーリーフジャパン	優勝
52kg級	中村 美里	三井住友海上火災保険(株)	2回戦敗退
48kg級	福見 友子	学校法人了徳寺学園	3位決定戦敗退

発行日 2012年10月5日
 発行 全日本実業柔道連盟
 発行人 事務局長 郷田博史
 印刷 株式会社